

事故発生状況報告書

【記入例】

事故証明書番	第 ◆◆署 8888 号	当事者	甲 (加害者)	氏名 加害 走 太
自動車の登録番号	岡山333 ん 3333	乙 (被害者)	氏名	国保花子 運転 同乗・歩行・その他
天候	晴・曇・ 雨 ・雪・霧・()	交通状況	混雑・ 普通 閑散	明暗 昼間 夜間・明け方・夕方
道路状況	舗装: (してある・していない) ・ 歩道: (ある ない) ・ 道路の見通し: (良い 悪い) 中央車線: (ある ない) ・ 道路の状況: (直線 ・カーブ・平坦・坂・積雪路・凍結路)			
信号又は標識	信号: (ある ない) ・ 自転車側信号: (青・赤・黄) ・ 相手側信号: (青・赤・黄) 駐停車禁止: (されている されていない) ・ その他標識: (一時停止 (止まれ))			
速度	甲車両: 不明 km/h (制限速度 40 km/h) ・ 乙車両: 50 km/h (制限速度 50 km/h)			

(右の記号を使って乙の立場で記入してください。また、車線数も正確に記入し、道路幅はmで記入してください。)

⑪ 事故現場状況図		<div style="margin-bottom: 5px;">自 車(乙) </div> <div style="margin-bottom: 5px;">相手車(甲) </div> <div style="margin-bottom: 5px;">進行方向 </div> <div style="margin-bottom: 5px;">信 号 </div> <div style="margin-bottom: 5px;">一時停止 </div> <div style="margin-bottom: 5px;">人 </div> <div style="margin-bottom: 5px;">自 転 車 バ イ ク </div>
--------------	--	---

事故発生
の状況
(経緯)

乙が、片側1車線の国道を●▲市の方へ時速50kmで直進していたところ、
甲の車が左側の脇道から一時停止せずに飛び出してきたため、乙の車と接触した。
現場はブロック塀があって見通しが悪く、急ブレーキを踏んだが間に合わなかった。

被害者の負傷状況	日	<input type="checkbox"/> 出勤日 <input checked="" type="checkbox"/> 休日 (定休日・休暇を含む) <input type="checkbox"/> その他 ()
	時間帯	<input type="checkbox"/> 勤務時間中 <input type="checkbox"/> 通勤途上 <input type="checkbox"/> 出張中 <input checked="" type="checkbox"/> 私用 <input type="checkbox"/> その他 ()
	場所	<input type="checkbox"/> 会社内 <input checked="" type="checkbox"/> 道路上 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> その他 ()
	労災特別加入※ <small>※社長、役員等の経営者が加入する労災保険</small>	(被害者が代表取締役等の役員、経営者の場合のみ記入) <input type="checkbox"/> 加入有 <input checked="" type="checkbox"/> 加入無

上記内容に間違いありません。

※署名又は記名・押印

令和 3 年 7 月 10 日 届出者(被保険者) : 国保花子 印
※未成年の場合は親権者等

(注)本書面に代わる同等の内容の書面がある場合には、その書面の提出をもって本書面の代わりとすることも可能です。ただし、その場合には、当該書面の余白部分に「上記内容に間違いありません」と記入した上、届出者に署名または記名押印をして貰ってください。